

1. セッション名

人工流れ星をはじめとする新しい宇宙利用と将来
～サイエンスとエンターテインメントの両立～

2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
○	岡島 礼奈	株式会社 ALE	

3. 概要

① 目的&内容

昨今民間宇宙企業が増え、新しい宇宙利用の切り口が増えてきているものの、宇宙利用の方法としてエンターテインメントというのはまだまだ珍しい。

このセッションでは、人工流れ星をはじめとしたエンターテインメントとそこからもたらされるサイエンスについての紹介を行う。

民間宇宙企業として

② 意義

マネタイズが難しいといわれている民間宇宙企業であるが、エンターテインメントと組み合わせることで、マネタイズの機会を試みている事例もあるということを紹介し、新しい宇宙利用の方法を提案する。

また、エンターテインメントといてだけではなく、その流れ星データがもたらすサイエンスへの貢献についても詳しく紹介する。

新しい宇宙利用の方法を認知してもらい、それらが宇宙産業を活性化させているということをお伝えし、さらにこの取り組みに参加する企業、個人、団体を増やしたい。

4. セッション構成、発表件数

1セッション 7件

5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

司会：岡島礼奈

セッション#	著者	所属	講演登録番号
ALE 衛星プロジェクト概要	栞原 聡文	東北大学	1S10
Calculation of artificial meteor wake properties	Lemal Adrien	ALE	1S11
人工流星の軌道に対する空力パラメータの影響に関する感度解析の影響に関する感度解析	木村 菜摘	首都大学東京	1S09
人工流れ星を科学する・流星アブレーション実験と流星科学の新展開	松山 誉	日本大学	1S15
デスクトップアーク加熱風洞による加熱率を変化させた大気再突入模擬実験	江川 雄亮	九州大学	1S13
ALE 流星による高層大気観測の意義	平賀 涼子	ALE	1S12
ALE 次世代ミッション候補としての導電テザー技術を用いた超小型衛星用PMD デバイスの検討□	渡部 武夫	神奈川工業大学	1S14

以上